丸の内エリアの魅力を発信
7 カ国からビジネスミーティングプランナーを迎えた「FAM トリップ」を開催

●MICE の誘致を促進する FAM トリップを開催

MICE（Meeting, Incentive, Convention, Exhibition/Event）の誘致を進める DMO 東京丸の内は、幅広いスタイルでの利用にふさわしい MICE 関連施設やユニークベニューが点在する大手町・丸の内・有楽町エリア（以下、丸の内エリア）の魅力を海外のビジネスミーティングプランナーたちに訴求するべく、2022 年 12 月 8 日（水）に同エリアで開催された FAM トリップ（TCVB 公益財団法人 東京観光財団主催）に参画しました。

FAM トリップとは、Familiarization Trip の略でモニターツアーのこと。今回は、DMO 東京丸の内の会員企業であるパレスホテル東京、ザ・ペニンシュラ東京、東京會舘をはじめ、過去最大規模で開催された「丸の内ストリートパーク」の視察から、人力車体験や心理的安全性の大切さを学びながらチームビルディングができるブラインド体験に至るまで、多彩なメニューを通じて、丸の内エリアの魅力に触れつつ知見を深めていただく機会となりました。

＜行程表＞

10:00　　DMO 東京丸の内（プレゼンテーション）
10:10　　パレスホテル東京（視察）
11:00　　人力車体験
11:20　　二重橋（皇居ランプログラム）
11:50　　THE UPPER（昼食）
13:00　　ザ・ペニンシュラ東京（視察）
14:30　　「Blind Experience（見えない体験）」（チームビルディングプログラム）
16:00　　丸の内ストリートパーク（視察）
17:00　　東京會舘（視察・夕食）

●DMO 東京丸の内（プレゼンテーション）

プレゼンテーションに聞き入るビジネスミーティングプランナーたち。

この日、DMO 東京丸の内には、アメリカ、ドイツ、デンマーク、スペイン、シンガポール、インドネシア、ベトナムの 7 カ国のビジネスミーティングプランナーが集いました。FAM トリップは、丸の内エリアの魅力と DMO 東京丸の内の活動について紹介するプレゼンテーションからスタート。

「このエリアは、ニューヨークのセントラルパークの 3 分の 1 ほどの大きさに、約 4300 社の企業が集積しており、日本の GDP の 25%を占めるビジネスの中心地です。徒歩圏内に数多くの MICE 施設が点在し、世界トップクラスのラグジュアリーホテルやユニークベニューが多くあります。DMO 東京丸の内は、それらの施設や団体から構成され、大丸有エリアでの MICE 開催時のワンストップポータルとして支援させていただいています」

●パレスホテル東京（視察）

「パレスホテル東京」の客室内バルコニーにて。

初めに向かったのは、丸の内エリアを代表する五つ星ホテルの一つ「パレスホテル東京」。一行は、MICE 会場として使用される宴会場や、海外 VIP も多く利用する客室などを視察し、バルコニー越しに広がる美しい景色を堪能しました。

●人力車体験

一行を乗せた人力車が勢ぞろい。いざ出発！

その後、ホテルの前で人力車の車夫の方たちと落ち合い、洗練された大都会と皇居や東京駅、自然あふれる丸の内仲通りなど、丸の内エリアならではの景色を楽しみながら次の目的地へ。「丸の内エリアの街並みをゆっくり楽しめました」、「貴重な時間でした。ビジネスミーティングの参加者に喜ばれること間違いなしです」など、やはりオーセンティックな日本文化はどの国の方にも好評でした。

●「皇居ランプログラム」について知る

皇居前広場の二重橋をバックに記念撮影。

続いて皇居前広場に移動し、DMO 東京丸の内事務局より「皇居ランプログラム」の説明を行いました。
「MICE グループを対象としたこのプログラムでは、世界的スポーツメーカー・アシックスのコーチと一緒に、皇居外苑を走ることができます。コースを走りながら、自然豊かな景色を楽しみ、心身をリフレッシュできるので、チームビルディングにも絶好の体験です」。

●THE UPPER（ランチタイム）

「THE UPPER」でランチを楽しむ一行。

午前中の FAM トリップを満喫した後は、ルーフトップ・レストラン「THE UPPER」へ。同店が誇るクラシックなブラッスリー料理を堪能しました。

●ザ・ペニンシュラ東京（視察）

（左）最上階 24 階のレストラン「PETER」。
（右）同フロアに位置する会場「ザ・スカイルーム」。

午後は 5 つ星ラグジュアリーホテル「ザ・ペニンシュラ東京」の視察からスタート。一行はシアター形式での会議やカクテルパーティ、少人数での食事など、イベントの目的や規模に合わせて活用できる会場を見学しました。

●「Blind Experience（見えない体験）」プログラム

モハメド・アブディンさん（参天製薬 企画本部 CSR 室・写真中央）と
「見えない体験」を体験するプランナーたち。

DMO 東京丸の内に到着後、丸の内エリアに拠点を構える世界的製薬メーカー「参天製薬株式会社」の 企画本部 CSR 室の方々をゲストに迎え、視覚障がいへの理解を促進したり、コミュニケーションの重要性を学ぶ「Blind Experience（見えない体験）」プログラムについてお話しいただきました。
それから一行は、全盲のモハメド・アブディンさん指導のもと、アイマスクを使ったさまざまな非日常体験をし、場は大いに盛り上がりました。視覚に頼らず息を合わせるプログラムを体験することは、心理的安全性やコミュニケーションの重要性を実感する貴重な時間となりました。

●丸の内ストリートパーク（視察）

「丸の内ストリートパーク」の象徴的なサイネージ。

FAM トリップもいよいよ終盤。一行はエリアを象徴するユニークベニュー「丸の内仲通り」に繰り出し、「丸の内ストリートパーク（以下、MSP）」を視察しました。MSP は丸の内仲通りの今後のあり方や活用方法を検証する社会実験の場。2022 年には展開エリアを丸の内仲通りから新たに行幸通りにも広げ、史上最大規模で開催されました。参加者からは「日本のビジネスの中心地にある公道を活用して、まちの賑わいを創出している点が素晴らしい」、「MSP は、春や夏にも開催されているとのこと、四季折々の丸の内をぜひ体感してみたい」といった声が上がりました。

MSP 視察後、東京駅前で記念撮影。

●東京會舘（視察・夕食）

「東京會舘」のチャペルに併設したバルコニーからの夜景。

（左）「MAIN BAR」で、くつろぎのひとときを過ごすプランナーたち。
（右）「優しい味がする」と好評だった特別なカクテル。

最後の視察先は、東京會舘です。夜景を臨めるチャペルを視察したのちオーセンティックバーへ。
※大丸有バーホッピングウィークで披露した酒蔵とのコラボレーションカクテルからインスピレーションを受けた特別なカクテルを楽しみました。

※DMO 東京丸の内の企画のもと、2021 年 11 月 24 日～12 月 7 日に開催したカクテルフェア。

一日を共に過ごし、すっかり打ち解けた様子のプランナーたち。

そして一日の締めくくりに、東京會舘内の「八千代」で和食を楽しみながら、FAM トリップに対する感想を共有しました。

盛り付けにも優雅さが漂う「八千代」の料理の数々。

最後にプランナーたちへお土産として、DMO 東京丸の内のロゴ入りエコバッグと DMO 会員企業である「帝国ホテル 東京」の料理長・杉本雄氏が監修した「サステナブルソルト」を贈りました。

丸の内エリアでの MICE の開催・誘致に向けて、同エリアの魅力を存分に体感してもらうべく開催した今回の FAM トリップは、盛況のうちに終えることができました。DMO 東京丸の内は、今後も MICE 開催のさらなる誘致を進めるため、会員企業と手を携えながら、一丸となって力を注いでまいります。